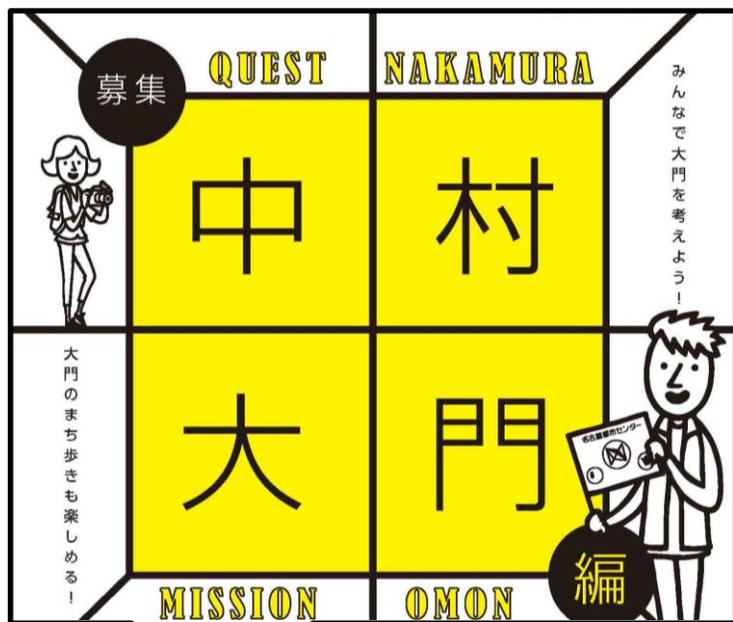


令和元年度 地域のまちづくりびと講座



第2回目

日時: 令和元年9月18日(水)

時間: 18:30~20:30

場所: 名古屋都市センター
13階 ワークスペース

講師: 稲葉 久之さん

(フリーランスファシリテーター)

ゲスト: 加納 栄志さん、長谷川 大さん
(大門まちづくり友の会)

まちづくりびと講座の第2回は、「まちについて知り、テーマを設定しよう」大門まちづくり友の会の方に、まちについてお話を聞き、フィールドワークのテーマを設定します。



大門について知る(ゲスト講師:大門まちづくり友の会)

まちづくりびと講座の2回目は、大門まちづくり友の会から代表である、加納さん、そしてまちづくりびと講座の修了生で、まちづくりびとのOBでもある長谷川さんをゲストにお招きし、中村区大門のまちの歴史と、大門まちづくり友の会の発足となったきっかけである、大門FES(地域の祭り)の開始、そして、2018年にまちづくり活動助成を受けて行った活動の紹介と、現在抱える課題についての定期がありました。

その後「大門のまちのこれからを考えるテーマ」として、現在大門が抱える問題点を4つ挙げ、講座の参加者がどのテーマについて考えたいかを決めるとともに、グループに分かれました。



地域の横の繋がりを大切に、
他団体との協同や、
宴会も大切にしています♪





グループごとに分かれて、大門について語り合う

4つの課題に対して別れたグループで、一人ひとりの考えを付箋に書き出し模造紙に貼り話し合いを行いました。その後、発表タイムでは、疑問点や意見の共有を行いました。

グループワークで考えたテーマと主な意見

①「新住民と旧住民が交流できる機会の創出」

：マンションが乱立し始めて、家族は増えている事も事実。ただ旧住民と新住民はタイプが違うので、旧住民が本当に新住民との共存を望んでいるのか？ナイトツアーは観光会社でも旅行者向けに開催しているので、それを新世代に参加をしてもらうのはどうか？

②「道路（路面空間）を活用した地域の魅力づくり」

：現状認識でピアゴ前の幹線道路の効果的な使い方。車や自転車の交通量の把握。横丁の特徴的な空間や道路そのものに着目して歩いてみる。見通しが効かないY字の面白さ等について。

③「大門横丁、大門小路」でのイベント企画

：飲食店は、どんなお店があるの？イメージはどんなの？どのくらいの人 coming の？横丁の今後の役割として、全世代や大門を支持する人からツイッターやWEBの発信を通して、クラウドファンディングなどをして、飲み屋としてだけでなく地元の活性化を図る場所に出来ないか？

④「空き店舗」を活用したイベントスペースの利用法

：空き店舗は現在どれくらいあるのか？どんな人が居るのか？空き店舗を利用した例や借り手探し手マッチングなどはどうなっているのか？趣味の事を突き詰めたい人に空き店舗を貸して自由に使ってもらえる事はできないのか？



各グループの意見を共有した後は、友の会の二人とディスカッションタイムを取りました。

参加者からの①の課題「新住民と旧住民の交流」に関しては、新マンションの住民は町内会に入らない人も多く提案の「大門ナイトツアー」はやってみたい。②の「道路利用」に関しても市道は規制もあり難しいが、空間を利用して何かイベント的な事が出来ないか考えている。③の「横丁のイベント企画」は、お客さんの大半が地元の人が多いので、外からの人に見てもらい一緒に活用を考えて欲しい。④の「空き店舗の利用法」では、③と共通するが地域外の人、若い人に借りてもらい新しい取り組みをするのもいい。最近は民泊などが出来始めている。空き店舗が多いので、商店街の振興のためにも、何とか活かしていきたい。など、参加者と活発な意見交換が行われ、次回以降の講座に活かすため、大門のことをしっかりと学ぶことができたのではないかと思います。